

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(羽咋市)立(羽咋小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(川崎 利行)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

・研修や実践交流を通して、他の先生方の実践を取り入れた
り、様々な機能を試したりすることで、指導力が上がっていく
手ごたえを感じている教員が増えてきた。
・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の要素を意図的に
授業に組み込むことで、授業改善につながり、児童に付けた
い資質・能力を育てていくことができた。

課題

・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に
向けた授業づくりをさらに進めていく必要がある。
・「個別最適な学び」の2つの要素である『指導の個別化』と
『学習の個性化』についての理解を十分にすることがある。

校内研修のアイディア

- ①「個別最適な学び」の充実を図る。
 - ・『指導の個別化』を実現するためのICTの活用法や指導法を全体で研修する。
 - ・職員室の掲示板にGIGAに関する実践交流コーナーを設ける。
- ②Chromebookを活用した情報交換をさらに進める。
 - ・ICT活用の授業の予定を一覧にし、気軽に授業参観を行えるようにする。(Gマーク&Hマーク)
 - ・参考にしたい授業を動画に撮り、情報を共有する。(GIGAレポ)
- ③ニーズに応じた校内研修を行う。
 - ・教員アンケートを実施し、要望を募る。
 - ・教員と児童の実態調査を行い、さらなる推進につなげる。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 教員の目標
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」が往還的につながっている授業ができる。
 - ・「個別最適な学び」の『指導の個別化』と『学習の個性化』の意味を理解し、意図をもって授業を行うことができる。
- 児童の目標
- ・ICTを活用し、自ら進んで探究する。
 - ・学習方法を自分で選択し、目的をもって探究する。

| 月 | 研修テーマ[研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|----------|--|--------------------|---------------|
| 4月 | 学校研究ビジョン伝達[全体] GIGA推進会議[GIGA推進チーム] | 山岸 推進チーム | 研究全体会 |
| 5月 | GIGA研修①「今年度の取組について」[全体] 研究授業[全体] | 川崎 今井 | 計画訪問A |
| 6月 | GIGA研修②「校内タイピング検定」[全体→部会] GIGA強化事業動画撮影[部会] | 松本 中村 | |
| 7月 | GIGA研修③「(講師招聘)」[全体] | 川崎 | |
| 中間 目標 | ・各教員がGIGAの実践を、掲示板や研修を通して2回以上紹介する。(GIGAコーナー&GIGAレポ) | | |
| 8月 | GIGA研修④「ハピネス・アカデミー」[若プロ&希望者] | 松本・辻 | |
| 9月 | 研究授業[全体] GIGA研修⑤「リーダー研修指示伝達」[全体] | 山岸 川崎 | |
| 10月 | | | |
| 11月 | GIGA研修⑥「(未定)」[全体] | 推進チーム | |
| 12月 | | | |
| 中間 目標 | ・児童が「GIGAブック(仮)」を作成し、自分にとってICTを活用した最適な学習方法を選択する。 ・教員がICTを活用した授業を行い、その頻度を1学期以上に上げる。(Gマーク&Hマーク) | | |
| 1月 | GIGA研修⑦「ハピネス・アカデミー」[若プロ&希望者] | 松本・辻 | 計画訪問C |
| 2月 | 公開研究会[全体] 若プロ実践報告[若プロ] | 山岸・川崎 ・辻 若プロ | GIGA強化事業公開研究会 |
| 3月 | | | |

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(羽咋市)立(乗ノ保小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(松田 健吾)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

| 成果 | 課題 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 週案iマークの取組や、月末の実践報告の取組によって、教員全体がICTを授業の中で活用することに対する意欲が高まった。ミライシードは日常的に活用されるようになり、さらに児童がGoogle Workspaceを使って発表する授業もよく見られた。 ミニ研修として、授業に活用できるのではないかとされるアプリケーションの紹介や活用方法の研修を行うことによって、授業で扱う事ができるアプリケーションの選択肢を増やす事ができた。EV3については、R3年度も5年生の総合的な学習の時間の中で活用することができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 実践の意識は高まったものの、実践数を見ると低学年が少なく、高学年が多いという傾向が見られた。学年による実践数の偏りを小さくするために、来年度も引き続いてICT活用をiマーク集計により調査・確認するとともに、これまでの実践報告の活用やHakuismの活用を呼びかける。 ICT活用のベースとなるタイピング能力にばらつきがある。R3年度は乗ノ保タイピング検定の実施によるタイピング能力の向上に取り組んだ。来年度もICT活用に関する教員の研修を進めるとともに、児童のタイピング能力を高めるための取組を教職員全体で検討し、タイピング能力の向上を図る。 情報モラル指導のあしなみがしっかりそろっていないかった。 |

校内研修のアイデア

- ・情報モラル指導のあしなみをそろえるために、情報モラルの指導について、模擬授業を取り入れたミニ研修会を行う。また、指導した内容についての交流をするミニ研修会を設定する。
- ・夏季休業など、長い時間が確保できるタイミングでのICT教材の使い方について体験を交えた研修会を行う。(Lego EV3など)
- ・ICTを活用した授業を参観し合い、評価・アドバイスをし合うことで教師のICT活用力を高める。
- ・若手・中堅・ベテランなど、個に応じたサポートを行うため、個別または小グループでのミニ研修会を行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・児童は、「教師に指示されたから使う」のではなく、自分の考えを整理したり、まとめたり、友だちに伝えたりするためのツールとしてICTを選択・活用することができるようにする。
- ・教師は、必要に応じてICTを授業の中に取り入れ、アナログとデジタルが補い合って学力を高める授業づくりができるようにする。

| 月 | 研修テーマ[研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|------|---|--------|-------------------------|
| 4月 | 年間研修計画の作成・周知【全体研修】 ミニ研修会「クラスルームの作成」【希望研修】 ICT活用レポート交流会【低・高ブロック】 | 推進リーダー | 4/25第1回GIGA校内研修推進リーダー研修 |
| 5月 | 推進リーダーによるICTを活用した公開授業 ミニ研修会「情報モラル指導の仕方」【全体・模擬授業】 ICT活用レポート交流会【低・高ブロック】 | 推進リーダー | 5/17第2回GIGA校内研修推進リーダー研修 |
| 6月 | きまっしICT【教員による相互授業参観】 ミニ研修会「リモート授業のABC」【全体研修】 ICT活用レポート交流会【低・高ブロック】 | 推進リーダー | |
| 7月 | ICT活用レポート交流会【低・高ブロック】 | 推進リーダー | |
| 中間目標 | 実践の交流・蓄積 (児童) 5月時点で2年生以上の児童が一日一回端末を使用するようになっている。 7月までに乗ノ保キーボード検定に挑戦し、級を進めている。 (児童) 4年生以上の児童はローマ字入力で文書を作成することができる。 (教師) 6月時点でICTを活用した授業を週に1回以上行うことができる。 | | |
| 8月 | 研修会「EV3によるプログラミング指導」【全体・模擬授業】 1学期のふり返り【全体研修】 | 推進リーダー | |
| 9月 | きまっしICT【教員による相互授業参観】 ICT活用レポート交流会【低・高ブロック】 ミニ研修会「スライド・ポスターを作る」 | 推進リーダー | |
| 10月 | きまっしICT【教員による相互授業参観】 ICT活用レポート交流会【低・高ブロック】 ミニ研修会「プログラミング(公倍数・公約数)」 | 推進リーダー | |
| 11月 | 推進リーダーによるICTを活用した公開授業 きまっしICT【教員による相互授業参観】 ICT活用レポート交流会【低・高ブロック】 | 推進リーダー | |
| 12月 | ICT活用レポート交流会【低・高ブロック】 ミニ研修会「プログラミング(多角形の作図)」 | 推進リーダー | |
| 中間目標 | ICTの積極的導入 (児童) カメラ・Jamboard・スライド・ドキュメントのうち、低学年は2つ以上、中・高学年は全て使用することができる。 高学年はscratch等を用いた簡単なプログラミングを体験し、自分でプログラムを作ることができる。 (児童) ICTを介して相手に意見を伝えるために必要な方法を選択できる。 (教師) 11月時点でICTを活用した授業を1日1回以上行うことができる。高学年担任は、プログラミングの授業を1回以上行う。 | | |
| 1月 | きまっしICT【教員による相互授業参観】 ICT活用レポート交流会【低・高ブロック】 ミニ研修会 | 推進リーダー | |
| 2月 | きまっしICT【教員による相互授業参観】 ICT活用レポート交流会【低・高ブロック】 ミニ研修会 | 推進リーダー | |
| 3月 | 次年度に向けてのふり返り【全体研修】 | 推進リーダー | |

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(羽咋市) 立 (瑞穂小) 学校

GIGA校内研修推進リーダー (上杉 徹)

| 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題 | |
|--|--|
| 成果 | 課題 |
| <ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用した実践の積み重ねがある。 ICT機器の活用に長けた人材が一定数いる。 | <ul style="list-style-type: none"> 全職員でICT機器の活用事例について交流する時間が確保しづらい。 |

校内研修のアイデア

学校研究「対話を通して、自分の考えを伝え合うみずほっ子を目指して～言語能力の向上を図る各教科の研究～」と連動させて取り組む。

- 研究授業や相互授業参観の際に、全教員が一人一台の端末を利用して授業を記録したり、授業についてのアンケートをGoogle Formsで集めたりする。
- 授業整理会では、Google JamboardやGoogle Forms等を活用し、成果と課題を整理する。
- 学期に2回程度、研究組織のGIGAスクール構想推進部会の教員が中心となって、実践の交流や合同演習を行う。
- 全職員が、Google Classroom, Google Chatを日常的に使い、ICT機器の効果的な活用について共通理解を図る。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 全ての教員が、学習場面で効果的にICTを活用する機会を毎日設定している。
- 全ての教員が、導入場面の一斉学習において、自作のデジタル資料やデジタル教科書等を活用することができる。
- 全ての児童が、課題について、自分の考えを深める個別学習にICT機器を活用することができる。
- 全ての児童が、ねらいに迫るために、学び合いを深める協働学習にICT機器を活用することができる。

| 月 | 研修テーマ [研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|------|--|----------------------------|---|
| 4月 | GIGA交換研修推進年間計画作成 | GIGA推進リーダー | 4/9 GIGAスクール構想の実現に向けた教員のICT活用指導力強化事業第1回連絡協議会 4/25 GIGA校内研修推進リーダー研修 |
| 5月 | 20日(金) 6年生国語科: 研究授業【全体】 31日(火) A訪問 | 6年担任藤澤 GIGA推進部会 | 5/17 GIGA校内研修推進リーダー研修 |
| 6月 | 10日(金) 2年生体育科: 研究授業【全体】 14日(火) 3年生算数: GIGA動画撮影【部会】 下旬 大学教員派遣研修【全体】 | 総外松本 3年担任朝倉 GIGA推進部会 | |
| 7月 | 8日(金) 特別支援算数科: 研究授業【全体】 月末…GIGA OJT【全体】 | しらとり担任辻口 GIGA推進部会 | |
| 中間目標 | 【児童】…全教科で端末を使用する。「カメラ」「ホワイトボード」「検索」「文書作成」「プレゼン」「アンケート」「ロイロノート」「ミライシード」のアプリケーションを扱うことができる。(低学年3つ以上, 中学年4つ以上, 高学年5つ以上) 【教師】…全教科で端末を使用する。「カメラ」「ホワイトボード」「検索」「文書作成」「プレゼン」「アンケート」「ロイロノート」「ミライシード」のアプリケーションを活用する場面を授業に取り入れる。 | | |
| 8月 | 1学期の振り返りと2学期の取組の確認【全体】 2日(火) 公開研究会指導案検討会 GIGA校内研修ステージ3【一部】 | GIGA推進リーダー | |
| 9月 | 16日(金) 公開研究会(3年生国語科, 4年生社会科, 6年生体育科) 月末…GIGA OJT【全体】 | 3年担任朝倉 4年担任前田 6年担任藤澤 | 9/13 GIGA校内研修推進リーダー研修 |
| 10月 | 21日(金) 2年道徳科: 研究授業【全体】 【各部会】 | 2年担任石森 | |
| 11月 | 15日(火) 特別支援算数科: 研究授業【全体】 月末…GIGA OJT【全体】 | つくし担任田中 GIGA推進部会 | |
| 12月 | 2学期の振り返りと3学期の取組の確認【全体】 月末…GIGA OJT【全体】 | GIGA推進部会 | 12/3(金) GIGAスクール構想の実現に向けた教員のICT活用指導力強化事業 実施報告書締切 |
| 中間目標 | 【児童】…全教科で端末を使用する。「カメラ」「ホワイトボード」「検索」「文書作成」「プレゼン」「アンケート」「ロイロノート」「ミライシード」のアプリケーションを扱うことができる。(低学年3つ以上, 中学年4つ以上, 高学年5つ以上) 【教師】…全教科で端末を使用する。「カメラ」「ホワイトボード」「検索」「文書作成」「プレゼン」「アンケート」「ロイロノート」「ミライシード」のアプリケーションを活用する場面を授業に取り入れる。 | | |
| 1月 | 31日(火) 1年生国語科: 研究授業【全体】 冬休み…GIGA OJT【全体】 | 1年担任大山 GIGA推進部会 | |
| 2月 | 1日(水) C訪問 月末…GIGA OJT【全体】 | GIGA推進部会 | |
| 3月 | 1年間の振り返りと次年度に向けて【全体】 | GIGA推進リーダー GIGA推進部会 | GIGA校内研修推進リーダー研修実施報告書締切 |

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(羽咋市)立(西北台小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(側垣宣生)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- 迅速な整備と、積極的な利用、OJTにより、どの教師も児童も端末・ソフトに慣れて使いこなせるようになってきている。
- タイピングの計画を立てて取り組んだこともあり、学習に支障が出ない程度に児童のタイピング力が向上した。

課題

- △情報モラル教育や健全な使い方について計画的・継続的な指導が必要。
- △家庭学習での利用の在り方や、個別最適な学習の在り方についての研修が必要。
- △低学年の利用の在り方や、指導の内容や手順の計画が必要。
- △校内研修を持続的に行うための工夫が必要。

校内研修のアイデア

- ・GIGA校内研修について理解し、取り組み内容・目標を共有する。
- ・毎週水、金には家庭学習でPCを使い、chromebookの利用促進。
- ・ドキュメント、スプレッドシート、スライド、チャット、ドライブ、ミーティング、フォームズ、ジャムボード、フォトの使い方についてのOJT
- ・授業整理会では、ジャムボードの利用。
- ・OJTで月に1回程度ICTに関わる実践報告会を開く。(成功&失敗)
- ・他校とのオンライン交流会を全学年で行う。
- ・情報モラル教育の推進
- ・タイピング能力の向上に向けた目標と検証手段の提案

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 【 教員 】
- ①共通実践の理解を深め、目標達成のために協働できる。
 - ②電子図書を有効活用する。
 - ③ICTに関する知識・技能を駆使して、教科の学びを深める授業、情報リテラシー教育ができる。
- 【 児童 】
- ①タイピングになれ、諸機能を自由に使うことができるようになる。(高学年は、自分の目的に合った手段を自己選択して利用できるようになる。)
 - ②高学年は電子図書を積極的に利用できるようになる。
 - ③情報リテラシー(著作権、人権侵害、犯罪、健康等)を理解し、使えるようになる。
- 【 保護者 】
- ①ネット環境、情報リテラシー教育、学校が出す利用の約束を理解する。
 - ②児童がどのような機能を利用しているのかを理解する。(簡単なトラブルに対応できる)

| 月 | 研修テーマ[研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|----------|---|----------------------|---------------------------------|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・どのような技能を4月に伝えておくべきか協議する。[全体研修] ・授業実践の共有方法についてのOJT[全体研修] ・取組内容・目標を共有する。[全体研修] ・初めてのiPad[1年生:講師ICT支援員] | 側垣 | 4/25第1回GIGA校内研修推進リーダーオンライン研修 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・実践の共有[全体研修] ・情報モラル教育の指導計画の作成と共有[全体研修] ・なれようiPad・PC[1・2年生:講師ICT支援員] | 鷹合 | 要請訪問 児童集会 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童に向けた情報モラル教育① ・実践の共有[全体研修] | 側垣 | 児童集会 要請訪問 縦割り七夕週間 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童に向けた情報モラル教育② ・実践の共有[全体研修] ・Adobe Creative Cloud Expressの講習[希望者] ・電子図書の活用報告 | 側垣 南・ICT支援員 新田 | A訪問 七夕集会 |
| 中間 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ★chromebook, タブレットの基本的な利用の仕方を理解し、毎週全職員(児童)が利用している。 ★他校との授業交流に向けての計画を全学年が立てている。 ★学期別のタイピング能力の目標を全学年が達成する。 ★全担任が、HAKUISMの実践を参考にした授業実践の報告を6本以上している。 | | |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・実践の共有[全体研修] ・個別最適な学びとICTの利用の在り方について(GIGAサポート)[全体研修] | 側垣 | 要請訪問 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童に向けた情報モラル教育③ ・実践の共有[全体研修] | 側垣 | 要請訪問 第2回GIGA校内研修推進リーダー研修 |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童に向けた情報モラル教育④ ・実践の共有[全体研修] | 側垣 | 児童集会 運動会 縦割り読書週間 羽咋市研究発表会 |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童に向けた情報モラル教育⑤ ・情報モラル検定の作成 ・実践の共有[全体研修] | 側垣 鷹合 | 児童集会 |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童に向けた情報モラル検定 ・実践の共有[全体研修] | 鷹合 | 児童集会 |
| 中間 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ★学期別のタイピング能力の目標を全学年が達成する。 ★全学年、他校との授業交流完了。 ★全担任が、HAKUISMの実践を参考にした授業実践の報告を6本以上している。 | | |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・実践の共有[全体研修] | 側垣 | 児童集会 |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・実践の共有[全体研修] ・GIGAアンケートとその分析[] | 側垣 | C訪問 6年生を送る会 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・実践の共有[全体研修] | 側垣 | 児童集会 |

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(羽咋市) 立 (邑知小) 学校

GIGA校内研修推進リーダー (酒井 伸大)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- 【児童】
- ・学年の発達段階に合わせたGoogleアプリの活用
 - ・目的に合ったまとめ方や伝え方の工夫
 - ・生活科・総合にとどまらず、他教科でも学習したことをタブレット端末でまとめ、伝えるスキルの向上
- 【教員】
- ・ICTを活用した実践の蓄積
 - ・各教科でICTを用いたねらい達成のための活用法を共有と蓄積
 - ・ICTスキルアップシートで各学年につけたいスキル見える化と共有

課題

- 【児童】
- ・話す、聴く、書く、クロムブックを使うなど場面に応じた活用
 - ・クロムブックを使った情報モラルの習得
- 【教員】
- ・ねらい達成のためのICT活用場面の研究
 - ・ICTを活用した見取る場面の研究
 - ・情報モラルについての計画的な研修の場の設定

校内研修のアイデア

A 個々の学びを見取り、授業のねらいを達成するためにICTを効果的に活用した授業デザインを学校全体で構築し、推進する。
(対話場面・ICT活用場面・書く場面に焦点化した授業分析)

B 意図的・計画的にICTを活用し、児童の考えを集め、広め、比較・焦点化することで、個別最適な学びを実現する。
(Googleアプリ、ミライシード、その他アプリの積極的活用)

C. ICTの効果的な活用場面や活用スキルを、定期的に共有⇒提案⇒推進⇒検証する教師集団を育む。
(専用webページに月1実践以上UP, 月1程度の校内GIGAライン=校内研修)

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 【対話】教科の見方・考え方をもとにした対話によるアウトプットを通して、
【ICT】問題を解決するためにICTを効果的に活用し、
【記述】適切に記述する力をつける

| 月 | 研修テーマ[研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|------|--|-----------------------------|--|
| 4月 | [全体研修] GIGA研修計画の提案 [GIGA研究] GIGAと学校研究ロードマップとの関連を整理 [全体研修] 提案授業2年国語 (27日) | 教務・G推り 研究・G推り 研究・G推り | 4/25(月)第1回GIGA校内研修推進リーダー研修 一年生を迎える (Jamboardで企画, webポスター作成) |
| 5月 | [全体研修] GIGA邑知小版Webページの開設と共通理解 [全体研修] 校内GIGAライン (実践の共有・5月の方針) [学担・教科担当] 実践を共有→Webページにアップロード | 教務・G推り 研究・G推り G推り・情報 | 5/17(火)第2回GIGA校内研修推進リーダー研修 「ヘルスチャイルド10の約束」 (Googleform健康委) |
| 6月 | [全体研修] GIGA推進リーダー研修(5/17)の還流 [全体研修] 校内GIGAライン (実践の共有・6月の方針) [学担・教科担当] 実践を共有→Webページにアップロード | G推り 研究・G推り G推り・情報 | 邑知小・邑知中連携英語教育推進事業 (オンライン授業) |
| 7月 | [全体研修] 要請訪問6年国語 (4日) [全体研修] 校内GIGAライン (実践の共有・7月の方針) [学担・教科担当] 実践を共有→Webページにアップロード | 研究・G推り 研究・G推り G推り・情報 | 「七夕ミニコンサート」(限定公開動画の撮影と編集 音楽放送委員会) |
| 中間目標 | ☆児童が、出された課題に取り組み、決められた時間に提出することができる。 ☆児童が、自他の考えを比較し、その共通点や相違点を説明することができる。 ★教員は、毎日の授業で、ねらいにせまるICT活用場面を設定することができる。 ★教員は、ICTを見取りと評価に生かすことができる。 | | |
| 8月 | [学担・教科担当] 実践を共有→Webページにアップロード [全体研修] 1学期の実践報告, 成果と課題, 改善策 [全体研修] 校内GIGAライン (実践の共有・9月の方針) | G推り・情報 G推り・検証リ 研究・G推り | 「児童集会」(限定公開動画の撮影と編集 企画委員会) |
| 9月 | [推進リーダー] 前期の取組を総括した発表資料の作成 [全体研修] 要請訪問・特学国語 (14日) [学担・教科担当] 実践を共有→Webページにアップロード | G推り 研究・G推り G推り・情報 | 9/13(火)第3回GIGA校内研修推進リーダー研修 |
| 10月 | [全体研修] GIGA推進リーダー研修(9/13)の還流 [全体研修] 校内GIGAライン (実践の共有・10月の方針) [全体研修] 要請訪問5年 (24日) | G推り 研究・G推り 研究・G推り | 邑知小・邑知中連携英語教育推進事業 (オンライン授業) |
| 11月 | [全体研修] 要請訪問5年 (1日) [全体研修] 校内GIGAライン (実践の共有・11月の方針) [学担・教科担当] 実践を共有→Webページにアップロード | 研究・G推り 研究・G推り G推り・情報 | 邑知小・邑知中連携英語教育推進事業 (オンライン授業) |
| 12月 | [ブロック研修] 生活・総合の成果物・プレゼン等の検証 [全体研修] 1学期の実践報告, 成果と課題, 改善策 [学担・教科担当] 実践を共有→Webページにアップロード | 研究・G推り G推り・検証リ G推り・情報 | 「Xmasミニコンサート」(限定公開動画の撮影と編集 音楽・放送委員会) |
| 中間目標 | ☆児童が、アプリを使って自分の考えをまとめ、プレゼンすることができる。 ★教員は、Webページの実践をベースに、ICTの効果的な活用場面を見出し、広めることができる。 ★教員は、効果的な見取りと評価方法を提案し、実践に生かすことができる。 | | |
| 1月 | [全体研修] 校内GIGAライン (実践の共有・1月の方針) [学担・教科担当] 実践を共有→Webページにアップロード [全体研修] 4年国語 模擬授業 | 研究・G推り G推り・情報 研究・G推り | 邑知小・邑知中連携英語教育推進事業 (オンライン授業) |
| 2月 | [全体研修] 要請訪問4年 (6日) [学担・教科担当] 実践を共有→Webページにアップロード [推進リーダー・PT] 各学年の実践を整理・統合 | 研究・G推り G推り・情報 G推り・PT | 6年生を送る会 (ライブ配信, webポスター作成) |
| 3月 | [学担・教科担当] 実践を共有→Webページの情報整理 [全体研修] 1年間のふり振り返りと次年度に向けて | G推り・情報 研究・G推り | GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告締切 |

3 GIGA 校内研修 年間計画

【学校教育目標】

やる気、根気、元気で
たくましく生き抜く邑知っ子

【☆目指す教師像 (重点目標)】※HAKUISMに基づき

- A 個々の学びを見取り、授業のねらいを達成するために ICT を効果的に活用した授業デザインを学校全体で構築し、推進する。
- B 意図的・計画的に ICT を活用し、児童の考えを集め、広め、比較・焦点化することで、個別最適な学びを実現する。
- C. ICT の効果的な活用場面や活用スキルを、定期的に共有⇒提案⇒推進⇒検証する教師集団を育成。(専用 web ページに月 1 実践以上 UP, 月 1 程度の校内 GIGA ライン=校内研修)

【年間計画】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 重点目標 A | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 重点目標 B | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------------|---|----|----|----|----|---|----|--|-----|-----|--------|----|----|---|
| 校長・教頭 | 日常的な授業参観による指導・助言 職員で共有・共通理解に資する具体的な実践例の紹介 | | | | | | | | | | | | | |
| GIGA推進L | GIGA 研修計画 の提案 | | | | | 校内 GIGA ラインの実施 GIGAWeb ページ作成・ 運用研修・コーディネーター | | 校内 GIGA ライン 2クール目 GIGA Web ページの整理 授業改善の検証 | | | | | | |
| 研究主任 | RM 提案 | | | | | 研究授業⇒授業改善の視点 | | 授業実践 特に、 「HAKUISM」 における | | | | | | 授業実践 特に、 「HAKUISM」 における |
| 若手教員 (3名) | 若手育成 P 立案 | | | | | 若手教員早期育成 P 研修の推進・授業改善 | | ④展開場面 II (ICT) | | | | | | ①~⑤場面で 確かな記述力 を身に付けさせ るために、組織 的に質を向上 させる場面 |
| 校内研修 | 行事予定 教務 | | | | | 要請訪問(一人1回以上) 計画訪問(全授業者)他 週1回の GIGA ライン | | ⑤適用・習熟 (記述力) | | | | | | |
| 授業改善 | | | | | | Plan (提案)⇒Do (推進) ⇒Check (検証)⇒Action | | ⑥家庭学習 | | | | | | |

重点目標 C (通年) ※ICT 支援員による研修を含む

- 【検証方法】 A (研究授業 Jamboard, S-T 分析, 教・児 Form) B (S-T 分析, 教・児 Form による A との変容)
C (シン HAKUISM × 邑知小 Web ページの更新 一人月 1 実践以上 UP, 共有⇒実践⇒検証⇒計画)

第〇曜日の終礼 GIGA ライン (16:10~16:20)

実践事例の共有⇒提案 1 (Plan) ⇒推進 (Do) ⇒検証 (Check) ⇒ (提案 2) Action
⇒共有フォルダに蓄積 ex. HAKUISM 3 2022 3年 国語 モチモチの木 酒井
(授業場面) (年度) (学年) (教科) (単元) (授業者)
⇒チャットに UP
⇒リンク貼り付け
⇒アドビ web ページをアップデートしていく

HAKUISM の 5 場面を常に意図した web ページ構成と実践共有をしていく
導入⇒展開場面 I ⇒展開場面 II ⇒まとめ⇒適用・習熟⇒ふり返り

GIGA ラインでの主な問い

1. 授業者のねらいを問う 「どんな効果をねらったの (あったの) ?」
2. 児童の変容の有無を問う 「子どもの姿がどう変わったの?」
3. 汎用性や転用性の可能性を問う 「他の教科などでも使えるの?」
4. キャッチフレーズ=見出しをつける 「実践のポイントを一言でいうと?」

授業者が何を使ったか (主語が授業者で、方法論) ではなく、
児童がどう変わったか、児童にどんな力があったか (またはつけたかったか)
どれくらいあったか (数値で示せるとよい)

学力向上ロードマップの PDCA サイクルとリンクさせる

GIGA 構想シート

出し合い話に終始して
いたずらに時間が過ぎるこ
とのないよう、視点をしぼ
った校内研修にします。

子どもの姿がどうだった
かを中心に対話するよう
コーディネートします。

学力向上 RM の役割を再認識させ、
チームで確認する時間を設けます。

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

羽咋市立余喜小学校

GIGA校内研修推進リーダー(三室 大樹)

| 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題 | |
|--|---|
| 成果 | 課題 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・端末活用における児童アンケートで、どの項目においても肯定的回答95%以上だった。 ・授業改善に対する教師アンケートで100%肯定的な回答を得ることができた。 ・全クラスが毎日端末を使って授業を行うことが日常となり、端末を文房具として使う土壌をつくることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・端末の活用によって、深い学びを実現する ・端末の活用によって、学力が向上する ・個に応じた家庭学習の開発 |

| 校内研修のアイデア |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校研究と連動させて取り組む。 ・HAKUISM(羽咋市全体の学校研究・GIGAの柱)と連動させて取り組む。 ・Googleチャットを活用し、効率的に共通理解を図る。 ・日頃の授業と研究授業の中で個別最適化の学びと協同学働学習の往還という視点で、成果と課題、使いどころについて整理する。 ・授業整理会では、ジャムボードを活用し、授業を視点に沿って整理したり、次の一手を検討したりする。 |

| 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学習リーダーを中心に、授業場面(D1~D5)の特にD2, D3でICTを活用し、授業を進め、教師とみんなで学びを広げたり深めたりする。 ・授業者全員が、ミライシード(オクリンク・ムーブノート)やGoogleワークスペース(スライド・フォーム・ジャムボード)を活用し、学習で扱う情報を焦点化・共有化・視覚化することで、主体的・対話的で深い学びを支援することができる。 ・単元の中でICT活用場面を意図的・重点的に設定できる |

| 月 | 研修テーマ[研修形態] | | 担当 | 関連する行事等 |
|------|---|--|--|--|
| | デジタル授業力アップ | ICT活用力アップ | | |
| 4月 | 模擬授業・オクリンク(算数) | ミライシード(オクリンク)の使い方 Googleチャット・クラスルームの使い方 クロムブック・ipadの3つのルール | 各アプリの年度更新の調整 年間計画の作成・提案 学習アンケート | 4/25GIGA校内推進リーダー研修 |
| 5月 | HAKUISMver3の使いどころ 要請訪問(各教科) 計画訪問(各教科) | ミライシード(ムーブノート) ジャムボードの使い方 Googleフォームの使い方 | 各研修や情報の提案 他校の実践の情報収集 | 5/17GIGA校内推進リーダー研修 |
| 6月 | HAKUISMver3の使いどころ | 4・5月の取組の継続 | 各研修や情報の提案 他校の実践の情報収集 学習アンケート | 縦割り班ミーティング(ジャムボード) 得意技紹介 |
| 7月 | 研究発表会(算数) | 夏休みの課題の取組ませ方について(端末の積極的な活用) | 研究発表に向けた準備 ネット利用アンケートの準備 夏休み中のネット利用について | 研究発表会 |
| 中間目標 | 授業場面(D1からD5)の特にD2とD3で活用し、深い学びにつなげる | | 【児童】 3年生・・・ローマ字入力を覚える 4年生以上・・・1分間に15文字以上タイピングができる。 Dシートに書き込み、それを示しながらペアチャットをしたり、説明したりできる。 | 【授業者】 毎時間Dシートを作成し、効果的なシートになるよう精度を上げる |
| 8月 | 1学期の振り返りと2学期の取組の確認 ICT活用授業動画の視聴 | ミライシードやGoogleワークスペースのさらなる使い方 | デジタルシチズンシップ ネット利用アンケートの集約 | |
| 9月 | HAKUISMver3の使いどころ | Googleミートを使った授業交流について | 他校の実践の情報収集 | 得意技紹介 GIGA校内推進リーダー研修 ※前期の取組の発表 |
| 10月 | 端末活用×学力向上について 端末活用×深い学びについて | Googleミートを使った授業交流の深め方について | 他校の実践の情報収集 | 運動会 ふれあい祭り |
| 11月 | 端末活用×学力向上について 端末活用×深い学びについて | ミライシード・Googleワークスペースの使いどころ | 学習アンケート | |
| 12月 | ICT活用授業動画の視聴 | ミライシード・Googleワークスペースの使いどころ | 冬休み中のネット利用について | |
| 中間目標 | 授業場面(D1からD5)の特にD2とD3で活用し、深い学びにつなげる | | 【児童】 3年生・・・1分間に10文字以上タイピングができる。 4年生以上・・・1分間に20文字以上タイピングができる。 Dシートに書き込み、それを示しながらペアチャットをしたり、説明したりできる。 | 【授業者】 児童が「分かった・なるほど」という深い学びができるようなD3を作成し、授業を展開することができる。 |
| 1月 | HAKUISMver3の使いどころ 端末活用×学力向上×深い学びについて | | 実践報告作成 | 実践報告の締め切り (2/24締め切り) |
| 2月 | HAKUISMver3の使いどころ 端末活用×学力向上×深い学びについて | | | |
| 3月 | 1年間の振り返りと今後に向けて | | | |